

基眼目 Basomatophora  
サカマキガイ *Physa acuta* Draparnaud  
9個体

ヒメモノアラガイ *Austropeplea ollula* (Gould)  
6個体

モノアラガイ *Radix japonica* (Jay) 2個体

節足動物 Arthropoda  
昆虫綱 Insecta

トビケラ目 Trichoptera

ヒゲナガカワトビケラ *Stenopsyche marmorata*

Navas 2個体

コカクツツトビケラ *Goerodes japonicus*  
(Tsuda) 1個体

クサツミトビケラ属 *Oecetis* sp.  
3個体

脊椎動物 Vertebrata

硬骨魚綱 Osteichytes

コイ目 Cypriniformes

エゾホトケドジョウ *Lefua nikkonis* (Jordan &  
Fowler) 1個体

### 調査結果と考察

以上の8種を確認した。従来の調査結果は全くなく、従来県下の昆虫を除く無脊椎動物の調査は極めて少なかった。以下の特徴が挙げられる。

#### (1)シマイシビルと巻貝類の多さ

全体を通してビルが多く見られた。この種は非吸血ヒル性の種で、多くの競争種が少なく、吸盤で基盤に付着することが優利に働いていると思われる。

なお、貝類では基眼目とカワニナが比較的多かった。カワニナ類は $\beta$ 中腐水性を指標するされ、かなり多産した。水質が清浄で、砂が溜まっている場所があることによると思われる。ゲンジボタルのえさとして欠かせない貝である。

(2)特筆すべき種としてはエゾホトケドジョウがあげられる。本種は北海道などに分布するほか、本州ではきわめて分布が限られていたものである。天然記念物はないが、モノアラガイが「富山県絶滅のおそれのある野生生物」の「危急種」に指定

されている。

### 参考文献

- 布村昇 (1998) いたち川の無脊椎動物。富山市科学文化センター  
富山県動物生態研究会 (1995) 富山県の淡水貝類  
in富山県の水生生物、16-70。富山県。



1 西側の流れ



2 西側の流れの浅い箇所



3 東側の流れ

富山の生物 43 (2004)

私の野帳から (富山県内版) -2

## 富山県朝日町鹿島樹叢産陸生等脚目甲殻類

布村 昇  
富山市科学文化センター 〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31

Terrestrial Isopod Crustaceans from the Evergreenforest of, Kashima, Asahi-machi, Toyama

Noboru Nunomura

富山県下新川郡朝日町宮崎の鹿島樹叢は現在まで残された貴重な照葉樹林である。富山平野の本来の等脚類相をさぐるためにも、この地域における調査が必要と考えた。2003年の8月10日に朝日町教育委員会の許可を得て調査を行った。

上部のスダジイ林床 (奥の院: 標高約80m)

中部のアカガシ・ウラジロガシ林床(標高約30m程度)

下部のタブの木 (標高約20m程度)

それぞれの落葉50cm×50cmをシフティングし、その残りをツルグレン装置で6日間かけて抽出した。

その結果、次の 5科 7種を確認した。

Family Ligiidae フナムシ科

*Ligidium japonicum* Verhoff,1918 ニホンヒメフナムシ

[調査標本] 上部 (スダジイ) 林床、1♂8♀♀

[コメント] かつての記憶では鬱蒼とした照葉樹林ではニホンヒメフナムシが優占していたのを見た記憶があるが、今回はかなり少なかった。

Family Trichoniscidae ナガワラジムシ科

*Haplophthalmus danicus* Budde-Lund,1879 ナガワラジムシ

[調査標本] 中部 (アカガシ・ウラジロガシ) 林床2♂♂23♀♀ (うち3♀♀は抱卵しており、抱卵数は4個、6個、10個); 下部 (タブ) 林床、18♂♂22♀♀。

[コメント] 下部ではかなり多かった。私はこの森で初めて確認した。

Family Trachelipidae トウヨウワラジムシ科

*Lucasioides* sp. (aff. *nishimurai* (Nunomura,1987)) サトヤマワラジムシ類似種

[調査標本] 上部 (スダジイ) 林床、1♀; 中部 (ア

カガシ・ウラジロガシ) 林床 1♂1♀.

*Mongoloniscus katakurai* (Nunomura,1987) コガタハヤシワラジムシ

[調査標本] 中部 (アカガシ・ウラジロガシ) 林床 1♂3♀♀.

[コメント] 従来の記録は関東地方であるが、♂の第1腹肢外肢の形態が本種に一致していた。

*Mongoloniscus hokuriuensis* (Nunomura,1987) ホクリクサトワラジムシ

[調査標本] 中部 (アカガシ・ウラジロガシ) 林床1♂3♀; 下部 (タブ) 林床、1♀.

Family Armadillidae コシビロダンゴムシ科

*Venzillo dorsalis* (Iwamoto,1943) セグロコシビロダンゴムシ

[調査標本] 上部 (スダジイ) 林床、19♂♂50♀♀; 中部 (アカガシ・ウラジロガシ) 林床9♂♂55♀♀; 下部 (タブ) 林床、18♂♂22♀♀.

[コメント] セグロコシビロダンゴムシが各林床とも優占している。

Family Armadillidiidae オカダンゴムシ科

*Armadillidium vulgare* Latreille,1804 オカダンゴムシ

[調査標本] 下部 (タブ) 林床、1♂3♀♀.

### 文 献

Nunomura,N., 1987. Studies on the Terrestrial Isopod Crustaceans in Japan, IV. Taxonomy of the Trachelipidae and Porcellionidae. Bull. Toyama Sci. Mus.,11:1-76.

布村 昇, 1991. ワラジムシ目. 青木淳一 (編) 日本産土壌動物検索図説. 東海大学出版会.

布村 昇, 1993. ワラジムシin展示リサーチブック. 富山市科学文化センター.